

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	算数	東書	あたらしいさんすう1⑩ さんすうのとびら、あたらしいさんすう1⑩ さんすうだいすき! 新しい算数2上考えるっておもしろい!、新しい算数2下考えるっておもしろい! 新しい算数3上考えるっておもしろい!、新しい算数3下考えるっておもしろい! 新しい算数4上考えると見方が広がる!、新しい算数4下考えると見方が広がる! 新しい算数5上考えると見方が広がる!、新しい算数5下考えると見方が広がる! 新しい算数6 数学ヘジャンプ!
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、水槽に入れる魚の数を数えたり、絵を見てひき算の話を作ったりする活動、乗り物に乗っている人数を求めたり、求める式を立てたりする活動、クッキーを同じ数ずつ分けたり、パイを何人に分けられるかを求めたりする活動、ポットとやかんに入った水の量の合計を求めたり、2本のテープを合わせた長さを求めたりする活動、リボンの代金を求めたり、鉄の棒1mの重さを求めたりする活動、ペンキで塗る板の面積を求めたり、針金の重さを求めたりする活動を通して、整数・小数・分数の四則演算の意味や計算の意味を考えたり考察したりする力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 図形については、似ている形を集めたり、色板でいろいろな形を作ったりする活動、切り取って形を作ったり、紙を折って長方形の特徴を調べたり、紙を切って正方形を作ったりする活動、いくつかの三角形を仲間分けしたり、コンパスを使って二等辺三角形をかいたりする活動、いくつかの四角形を仲間分けしたり、平行四辺形をかいたりする活動、形も大きさも同じ図形を選んだり、合同な三角形のかき方を考えたりする活動、複数の図形を仲間分けしたり、同じ形に見える図形を見付けたりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに形の特徴を捉え形の構成を考える力、基本的な図形の内容を理解するとともに平面図形の特徴を捉え考察する力、平面図形を理解するとともに図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し考察する力、図形の意味と性質を理解するとともに図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 測定については、2本の鉛筆の長さを比べたり、ペットボトルの水の量を比べたりする活動、鉛筆の長さを測ったり、はがきの横と縦の長さを測ったりする活動、電池とコンパスの重さを比べたり、はかりを使って筆箱の重さを測ったりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに量の大きさの比べ方を考える力、量の概念を理解するとともに量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 変化と関係については、2つの時刻の関係を表や式に表したり、表の見方について考えたりする活動、うさぎ小屋の混み具合を比べたり、米の取れ具合を考えたりする活動、水の深さと時間の変わり方を考えたり、画用紙の枚数から重さを求めたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ データの活用については、海の生き物を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったりする活動、休み時間の過ごし方を表に表したり、表やグラフから分かることを考えたりする活動、けがをした時間を表やグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動、気温の変化をグラフに表したり、グラフから特徴を捉えたりする活動、好きな給食の割合をグラフに表したり、2つのグラフから分かることを考えたりする活動、縄跳びの回数のデータを整理したり、データから分かることを考えたりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともにデータの個数に着目して捉える力、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともにデータの特徴や傾向に着目して多面的・批判的に考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、それぞれの学年で学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第1, 2学年では、加法や乗法の学習において、和が10より大きい数になる加法の計算方法や箱の中のお菓子の数の求め方について考え、操作や図を使った考え方や考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3, 4学年では、乗法や数量の関係を表す式の学習において、かけられる数が10より大きい乗法の計算の仕方や●の数の求め方について考え、考えの共通点や図や式を使った考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5, 6学年では、平面図形の性質や円の面積の学習において、4つの角の大きさの和や円の一部の面積の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

内容の程度・排列、分量等

- 内容の構成・排列については、第1学年では、個数や順番を数える学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、第2学年では、2位数の加法や減法の学習の後に、乗法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、第3学年では、3位数に1位数をかける乗法の学習の後に、除数が1位数で商が2位数の除法の学習を取り扱い、第4学年では、2位数の除法の学習の後、に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、第5学年では、小数の乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、第6学年では、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるようになっている。
- また、北海道（胆振・苫小牧）にかかわりのある内容については、第4学年の数と計算の領域で、概数の練習問題として「札幌市・旭川市」などが使われ、第5学年の変化と関係の領域では、人口密度を調べる問題として「北海道の面積と人口」が使われ、第6学年の図形の領域では、およその面積を求める問題として「えりも町の豊似湖」や「北海道」が使われるなど、全部で17箇所が取り上げられている。
- 内容の分量については、次のようになっている。
- 第1学年～「数と計算」は131ページ、「図形」は13ページ、「測定」は17ページ、「データの活用」は5ページであり、総ページ数は173ページで、前回より約6%増となっている。（判型はA4及びB5判）
- 第2学年～「数と計算」は139ページ、「図形」は19ページ、「測定」は36ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は258ページで、前回より約10%増となっている。（判型はB5判）
- 第3学年～「数と計算」は153ページ、「図形」は29ページ、「測定」は30ページ、「データの活用」は15ページであり、総ページ数は298ページで、前回より約10%増となっている。（判型はB5判）
- 第4学年～「数と計算」は171ページ、「図形」は78ページ、「変化と関係」は13ページ、「データの活用」は19ページであり、総ページ数は322ページで、前回より約11%増となっている。（判型はB5判）
- 第5学年～「数と計算」は85ページ、「図形」は85ページ、「変化と関係」は43ページ、「データの活用」は23ページであり、総ページ数は310ページで、前回より約8%増となっている。（判型はB5判）
- 第6学年～「数と計算」は93ページ、「図形」は56ページ、「変化と関係」は44ページ、「データの活用」は34ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約8%増となっている。（判型はB5判）

使用上の配慮等

- 「単元プロローグ」で児童が課題を見いだす様子を例示したり（全学年）、「いかしてみよう」で学習したことを日常生活に活用する活動を取り上げたり（全学年）するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。
- 「学びのとびら」で問題解決の過程を可視化したり（第2～6学年）、「算数で読みとこう」で主体的に関わることができる教材を取り上げたり（第4～6学年）して、主体的に学習できるよう工夫されている。
- 第1学年の第一分冊をA4判とし、ノートの機能を備えたり（第1学年）、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。

その他

- ※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用文部科学省）による
- 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	算数	大日本	たのしいさんすう 1ねん たのしい算数 2年 たのしい算数 3年 たのしい算数 4年 たのしい算数 5年 たのしい算数 6年
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、水槽に入れる魚の数を数えたり、式と具体的な場面を関連付けたりする活動、乗り物に乗っている人数を求めたり、求める式を立てたりする活動、いちごを同じ数ずつ分けたり、クッキーを何人に分けられるかを求めたりする活動、2つのバケツに入った水の量の合計を求めたり、ペットボトルの水の量を求めたりする活動、リボンの代金を求める式を考えたり、木の棒 1 m の重さを求めたりする活動、ペンキで塗る板の面積を求める式を考えたり、針金の重さや長さの求め方を考えたりする活動を通して、整数・小数・分数の四則計算の意味や計算の意味を考えたり考察したりする力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 図形については、似ている形を集めたり、色板でいろいろな形を作ったりする活動、紙を折って長方形の特徴を調べたり、紙を切って正方形を作ったりする活動、いくつかの三角形を仲間分けしたり、コンパスを使って二等辺三角形をかいたりする活動、いくつかの四角形を仲間分けしたり、平行四辺形のかき方を説明したりする活動、合同な図形を探したり、合同な三角形のかき方を説明したりする活動、複数の図形を仲間分けしたり、2つの図形が同じ形といえる理由を説明したりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに形の特徴を捉え形の構成を考える力、基本的な図形の概念を理解するとともに平面図形の特徴を捉え考察する力、平面図形を理解するとともに図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し考察する力、図形の意味と性質を理解するとともに図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 測定については、2本の鉛筆の長さを比べたり、ペットボトルの水の量を比べたりする活動、しおりの長さの測り方を考えたり、はがきの横と縦の長さを測ったりする活動、のりとはさみの重さを比べたり、はかりを使って大豆の重さを測ったりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに量の大きさの比べ方を考える力、量の概念を理解するとともに量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 変化と関係については、表から変化の様子を読み取ったり、水の減り方をグラフに表したりする活動、ドッジボールの成績を比べたり、電車の乗車率の変化を考えたりする活動、紙の重さから枚数を求める方法を考えたり、印刷と枚数の関係を調べたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ データの活用については、野菜の絵を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったりする活動、育てたい野菜のカードの数を表に表したり、グラフから分かることを考えたりする活動、遊びたい遊びの種類を表に表したり、グラフから分かることを考えたりする活動、気温の変化をグラフに表したり、2つのグラフを比べたりする活動、グラフから傾向を捉えたり、海外の国や地域へ行った日本人の人数をグラフに表したりする活動、本の貸出冊数のデータを整理したり、データの特徴を表す代表値を考えたりする活動を通して、量の大きさや簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともにデータの個数に着目して捉える力、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的・批判的に考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、それぞれの学年で学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第1, 2学年では、加法の学習や和が10より大きい数になる加法や2位数の加法の学習において、計算の仕方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3, 4学年では、乗法の学習や2位数をかける乗法の計算の仕方や除法の学習において、2位数を1位数で割る除法</p>		

	<p>について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5, 6学年では、平面図形の性質の学習や四角形の内角の和が360度となる理由について考え、考えの共通点や分数の乗法、除法の学習において、計算の仕方について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の程度・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では、個数や順番を数える学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、第2学年では、2位数の加法や減法の学習の後に、乗法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、第3学年では、1位数に2位数をかける乗法の学習の後に、除法が用いられる場合とその意味の学習を取り扱い、第4学年では、2位数の除法の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、第5学年では、小数の乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、第6学年では、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道(胆振・苫小牧)にかかわりのある内容については、第2学年の図形の領域で、三角形と四角形の練習問題として「札幌市指定避難所の標識」が使われ、第4学年では、数と計算の領域で、面積の練習問題として「北海道の面積」が使われ、第5学年では、変化と関係の領域で、人口密度の練習問題として、「北海道地方の人口」が使われるなど、全部で3か所が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～「数と計算」は124ページ、「図形」は10ページ、「測定」は17ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は177ページで、前回より約17%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～「数と計算」は132ページ、「図形」は17ページ、「測定」は37ページ、「データの活用」は7ページであり、総ページ数は243ページで、前回より約10%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～「数と計算」は141ページ、「図形」は25ページ、「測定」は28ページ、「データの活用」は16ページであり、総ページ数は263ページで、前回より約15%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～「数と計算」は155ページ、「図形」は69ページ、「変化と関係」は14ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約13%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～「数と計算」は79ページ、「図形」は81ページ、「変化と関係」は38ページ、「データの活用」は23ページであり、総ページ数は289ページで、前回より約17%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～「数と計算」は52ページ、「図形」は49ページ、「変化と関係」は34ページ、「データの活用」は30ページであり、総ページ数は269ページで、前回より約13%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「ふくろう先生のならほど算数教室」で興味・関心を高める教材を取り上げたり(第3～6学年)、「算数たまたまばこ」で生活と結び付ける活動を取り上げたり(全学年)するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 「算数まなびナビ」で学習の進め方を例示したり(全学年)、単元の導入で児童自身が問題や疑問を見いだす様子を例示したり(全学年)して、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 他教科の学習と関連した題材にはリンクマークを付けたり(全学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	算数	学図	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上、みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 5年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 6年下 中学校へのかけ橋
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、花瓶に入れる花の数を数えたり、駐車場に残った車の台数を求めたりする活動、身の回りからかけ算の式で表せる場面を探したり、一円玉を積み重ねて九九の表を作ったりする活動、あめを同じ数ずつ分けたり、わり算の式になる問題を作ったりする活動、やかんに入れた水の量の表し方を考えたり、ジュースの量を求めたりする活動、鉄の棒の重さを求めたり、ジュース 1 L の代金の求め方を考えたりする活動、ペンキで塗る塀の面積を求める式を考えたり、牛乳を飲む回数の求め方を考えたりする活動を通して、整数・小数・分数の四則演算の意味や計算の意味を考えたり考察したりする力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 図形については、いろいろな形の物をころがしたり、ロボットや車を作ったりする活動、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、紙を折って辺の長さを比べたりする活動、いろいろな長さのストローで三角形を作ったり、三角形を仲間分けしたりする活動、地図記号から平行な直線を見付けたり、身の回りから台形や平行四辺形を探したりする活動、合同な三角形を探したり、対応する辺や角を調べたりする活動、拡大図や縮図をかいいたり、地図から実際の距離を考えたりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに形の特徴を捉え形の構成を考える力、基本的な図形の内容を理解するとともに平面図形の特徴を捉え考察する力、平面図形を理解するとともに図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し考察する力、図形の意味と性質を理解するとともに図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 測定については、2本のひもの長さを比べたり、ハンカチの広さを比べたりする活動、長さを測る道具を作ったり、消しゴムの長さを測ったりする活動、文房具を重い順番に並べたり、かさが同じで素材のちがう物の重さを比べたりする活動を通して、数量の関係について理解の基礎となる経験を重ねるとともに量の大きさの比べ方を考える力、量の概念を理解するとともに量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 変化と関係については、階段の段数と高さの関係を表に表したり、水の増え方をグラフに表したりする活動、市と町の混み具合を比べたり、二酸化炭素の排出量をグラフに表したりする活動、水の量と深さの関係を調べたり、2つの比例のグラフを比べたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ データの活用については、果物の数を調べたり、ペットボトルのふたの数を整理して数えたりする活動、3月の天気を表に表したり、抜けた乳歯の本数を表すグラフから分かることを考えたりする活動、通った自動車の種類を表に表したり、保健室にきた人数を表したグラフを読み取ったりする活動、月別気温のグラフから情報を捉えたり、体温の変化のグラフの工夫を考えたりする活動、交通事故の原因別人数をグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動、反復横跳びの結果のデータから代表値を求めたり、データから分かることを考えたりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力、数量や表やグラフに表す技能を身に付けるとともにデータの特徴や傾向に着目して多面的・批判的に考察する力を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、それぞれの学年で学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第1,2学年では、加法、減法の学習において、具</p>		

	<p>体的な場面で採した数量による問題づくりや誤答の間違え方について考え、作った問題や計算の留意点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3,4学年では、乗法や折れ線グラフの学習において、並んだおはじきの数の求め方やグラフから読み取れることについて考え、考えの共通点や読み取りが正しいかどうかなどについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、平面図形の面積や比の学習の学習において、面積を求める公式の「$\div 2$」の表す意味や1000人分のカレーを作るときの材料の量などについて考え、考えの相違点や解決方法などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の程度・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では、個数を比べる学習の後に、数の合成や分解の学習を取り扱い、第2学年では、まとめて数える学習の後に、十進位取り記数法の学習を取り扱い、第3学年では、加法や減法、乗法、除法の学習の後に、長さや重さの単位と測定の学習を取り扱い、第4学年では、除数が1位数の除法の学習の後に、除数が2位数の除法の学習を取り扱い、第5学年では、小数の乗法や除法の学習の後に、分数の加法や減法の学習を取り扱い、第6学年では、分数の乗法や除法の学習の後に、比の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道（胆振・苫小牧）にかかわりのある内容については、第5学年の変化と関係の領域で、人口密度を求める問題として「北海道の面積と人口」が使われ、第6学年の図形の領域では、既習事項を活用する問題として「北海道のマーク」が使われ、第6学年のデータ活用の領域では、平均値を求める問題として「札幌市」が使われるなど、全部で14箇所が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～「数と計算」は114ページ、「図形」は13ページ、「測定」は13ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は196ページで、前回より約29%増となっている。（判型はA B判）</p> <p>第2学年～「数と計算」は117ページ、「図形」は18ページ、「測定」は27ページ、「データの活用」は7ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約21%増となっている。（判型はA B判）</p> <p>第3学年～「数と計算」は110ページ、「図形」は14ページ、「測定」は22ページ、「データの活用」は13ページであり、総ページ数は299ページで、前回より約12%増となっている。（判型はA B判）</p> <p>第4学年～「数と計算」は105ページ、「図形」は62ページ、「変化と関係」は16ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は323ページで、前回より約18%増となっている。（判型はA B判）</p> <p>第5学年～「数と計算」は71ページ、「図形」は63ページ、「変化と関係」は30ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は331ページで、前回より約14%増となっている。（判型はA B判）</p> <p>第6学年～「数と計算」は38ページ、「図形」は39ページ、「変化と関係」は25ページ、「データの活用」は25ページであり、総ページ数は293ページで、前回より約12%増となっている。（判型はA B判）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 日本の自然や伝統文化等を学習の素材として取り入れたり（全学年）、ページの左側に「～したいな」などの児童の視点に立った言葉で表したり（全学年）するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ ページの右側に問題の解決に必要な数学的な見方・考え方を示したり（全学年）、学習のめあてが疑問や話し合いの中から出てくるように工夫したり（全学年）して、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 各学年末の「今の自分を知ろう！」でパフォーマンス評価の考えを取り入れ、自己評価ができるようにしたり（全学年）、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※小学校用教科書目録（平成32年度使用文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	算数	教出	しょうがくさんすう 1 小学算数 2 上、小学算数 2 下 小学算数 3 上、小学算数 3 下 小学算数 4 上、小学算数 4 下 小学算数 5 小学算数 6
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、葉の枚数を数えたり、残ったまつぼっくりの数の求め方を考えたりする活動、乗り物に乗っている人数を求めたり、おはじきを使ってかけ算に表したりする活動、クッキーを何袋に分けられるのかを求めたり、いちごを同じ数ずつ分けたりする活動、ペットボトルに入った水の量の表し方を考えたり、紅茶と牛乳を合わせた量を求めたりする活動、リボンの代金を求める式を考えたり、棒 1 m の重さを求めたりする活動、棒の重さを求める式を考えたり、2 本のリボンの長さを比べたりする活動を通して、整数・小数・分数の四則計算の意味や計算の意味を考えたり考察したりする力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 図形については、いろいろな形の箱を組み合わせたり、ストローで三角形を作ったりする活動、動物を直線で囲んだり、紙を切って四角形や三角形を作ったりする活動、ストローで作った三角形を分類したり、コンパスを使って三角形をかいたりする活動、平行四辺形のかき方を考えたり、コンパスを使ってひし形をかいたりする活動、合同な四角形を探したり、合同な三角形をかいたりする活動、縮尺の異なる複数の写真を比べたり、縮図から実際の長さを求めたりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに形の特徴を捉え形の構成を考える力、基本的な図形の概念を理解するとともに平面図形の特徴を捉え考察する力、平面図形を理解するとともに図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し考察する力、図形の意味と性質を理解するとともに図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 測定については、2 本の鉛筆の長さを比べたり、布の広さを比べたりする活動、しおりの長さを比べたり、はがきの横と縦の長さを測ったりする活動、スポンジと電池の重さを比べたり、筆箱の重さを測ったりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに量の大きさの比べ方を考える力、量の概念を理解するとともに量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 変化と関係については、長方形の横と縦の長さの関係を表をもとに考えたり、グラフに表したりする活動、プールの混み具合を考えたり、人口密度を求めたりする活動、水を入れたときの時間と深さの関係を調べたり、式に表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ データの活用については、あさがおを色ごとに整理したり、野菜の個数を○で表したりする活動、育てたい野菜の種類を表に表したり、グラフから分かることを考えたりする活動、通った乗り物の種類をグラフに表したり、自由研究のテーマを表にまとめたりする活動、気温の変化を表に表したり、変化の様子を調べたりする活動、ものの収穫量を表に整理したり、割合を比べたりする活動、読んだ本の冊数と人数の関係を調べたり、グラフに表したりする活動を通して、量の大きさや簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともにデータの個数に着目して捉える力、数量を表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、データの特徴や傾向に着目して多面的・批判的に考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、それぞれの学年で学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第 1, 2 学年では、加法の学習や加法のよりよい計算の仕方、10 のまとまりを用いる意味や 2 位数の加法の学習において、既習の加法の計算との違いについて考え、位ごとに計算する意味などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第 3, 4 学年では、時刻と時間の学習や既習の問題との違い、考え方の相違点や除法の学習や既習の計算の活用について考え、十の位から計算する意味などについて</p>		

	<p>話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5, 6学年では、立体図形の体積の学習や面積の学習を活用する方法、考えの相違点や比例の学習において、10のまとまりを基に解決の方法について考え、倍数を基にした考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の程度・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では、数の合成や分解の学習の後に、2位数の表し方の学習を取り扱い、第2学年では、十を単位としてみられる数の加法や減法の学習の後に、2位数の加法や減法の学習を取り扱い、第3学年では、分数の加法や減法の学習の後に、小数の加法や減法の学習を取り扱い、第4学年では、四則計算の結果の見積もりの学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、第5学年では、約数や倍数の学習の後に、分数の加法や減法の学習を取り扱い、第6学年では、文字を用いた式の学習の後に、比例の関係や反比例の関係の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道(胆振・苫小牧)にかかわりのある内容については、第1学年の数と計算の領域で、10より大きい数の練習問題として「北海道産玉ねぎ」が使われ、第3学年では、測定の領域で、単位のしくみの練習問題として「稚内の道路標識」が使われ、第5学年では、変化と関係の領域で、速さの練習問題として、「北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手の球速表示」が使われるなど、全部で20か所が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～「数と計算」は117ページ、「図形」は16ページ、「測定」は16ページ、「データの活用」は4ページであり、総ページ数は180ページで、前回より約7%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～「数と計算」は138ページ、「図形」は22ページ、「測定」は38ページ、「データの活用」は5ページであり、総ページ数は279ページで、前回より約16%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～「数と計算」は139ページ、「図形」は28ページ、「測定」は34ページ、「データの活用」は17ページであり、総ページ数は298ページで、前回より約16%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～「数と計算」は140ページ、「図形」は74ページ、「変化と関係」は16ページ、「データの活用」は26ページであり、総ページ数は346ページで、前回より約21%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～「数と計算」は84ページ、「図形」は88ページ、「変化と関係」は46ページ、「データの活用」は22ページであり、総ページ数は308ページで、前回より約12%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～「数と計算」は50ページ、「図形」は54ページ、「変化と関係」は34ページ、「データの活用」は30ページであり、総ページ数は274ページで、前回より約15%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 授業開きの特設教材で問題解決の楽しさを味わうことを促したり(第2～6学年)、「広がる算数」で児童の興味・関心を高める探究的な教材を掲載したり(第4～6学年)するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 「主体的・対話的で深い学びのモデルページ」で学習の進め方を示したり(全学年)、「算数のミカタ」で数学的な見方を促したり(全学年)して、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 典型的な誤答の見られる問題に「考えるヒント」を掲載し、解決の着眼点を与えたり(第2～6学年)、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	算数	啓林館	わくわく さんすう1 わくわく 算数2上、わくわく 算数2下 わくわく 算数3上、わくわく 算数3下 わくわく 算数4上、わくわく 算数4下 わくわく 算数5上、わくわく 算数5下 わくわく 算数6
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、石の上のかえるの数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動、乗り物に乗っている人数を求めたり、かけ算になる問題を作ったりする活動、いちごを等分する方法を考えたり、わり算になる問題カードを作成したりする活動、サイクリングの道のりを求めたり、テープの長さを求めたりする活動、リボンの代金を求めたり、ひも1mの代金を求めたりする活動、ペンキで塗る壁の面積を求めたり、リボンの長さを求めたりする活動を通して、整数・小数・分数の四則計算の意味や計算の意味を考えたり考察したりする力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 図形については、形を写し取ったり、色板でいろいろな形を作ったりする活動、紙を切って正方形を作ったり、色紙を敷き詰めて模様を作ったりする活動、いくつかの三角形を仲間分けしたり、コンパスを使って二等辺三角形をかいたりする活動、点をつないで四角形を作ったり、コンパスを使って平行四辺形をかいたりする活動、図形を切り取って重ね合わせたり、合同な三角形をかいたりする活動、対称な図形をかいたり、方眼を使って拡大図や縮図をかいたりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに形の特徴を捉え形の構成を考える力、基本的な図形の内容を理解するとともに平面図形の特徴を捉え考察する力、図形の意味と性質を理解するとともに図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 測定については、2本の鉛筆の長さを比べたり、場所取りゲームをしたりする活動、こぶしを使ってものの長さを比べたり、はがきの横の長さを測ったりする活動、三角定規と鉛筆の重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ねるとともに量の大きさの比べ方を考える力、量の概念を理解するとともに量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 変化と関係については、長方形の横と縦の長さの関係を表に表したり、水のかさと重さをグラフに表したりする活動、4つの部屋の混み具合を比べたり、都道府県の面積と人口について考えたりする活動、水の深さと時間の関係を考えたり、針金の長さや重さの関係を考えたりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ データの活用については、果物を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったりする活動、好きな遊びを表やグラフに表したり、表やグラフから分かることを考えたりする活動、好きな遊びをグラフに表したり、表やグラフの表し方を工夫したりする活動、気温の変化を表に表したり、2つの都市の気温をグラフに表したりする活動、グラフから分かることを考えたり、作物別産出額をグラフに表したりする活動、ソフトボール投げの記録を比べたり、グラフに表したりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともにデータの特徴や傾向に着目して多面的・批判的に考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、それぞれの学年で学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第1, 2学年では、数の比べ方や数え方を考える学習や、乗法の学習において、いろいろなお金の出し方についてのそれぞれの考え方や、箱の中のチョコレート数を図や式を用いた考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動や取り上げられている。第3, 4学年では、数量の関係を表す式や四則に関して成</p>		

	<p>り立つ性質の学習において、□に当てはまる数について考え、図や式を用いた考え方や、カードの代金の求め方について、図や式を用いた考え方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5、6学年では、小数の乗法やデータの考察の学習において、計算の方法のよいところや共通点、記録の比べ方について考え、資料の整理の仕方や比べ方などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の程度・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では、個数や順番を数える学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、第2学年では、2位数の加法や減法の学習の後に、乗法が用いられる場合とその意味成の学習を取り扱い、第3学年では、1位数の除法の学習の後に、余りを求める除法の学習を取り扱い、第4学年では、除法の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、第5学年では、乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、第6学年では、乗法の学習の後に、分数の除法の意味の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道（胆振・苫小牧）にかかわりある内容については、第2学年の測定の領域で、みのまわりの時計として「札幌市時計台」が紹介され、第4学年の数と計算の領域で、概数を求める問題として「北海道の面積と人口」が使われ、第5学年のデータの活用の領域で、帯グラフと円グラフに表す問題として「札幌の小学校給食」と「北海道の作物別算出額（2016年）」が使われているなど、全部で15箇所が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～「数と計算」は117ページ、「図形」は12ページ、「測定」は13ページ、「データの活用」は2ページであり、総ページ数は176ページで、前回より約2%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第2学年～「数と計算」は143ページ、「図形」は24ページ、「測定」は38ページ、「データの活用」は6ページであり、総ページ数は291ページで、前回より約5%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第3学年～「数と計算」は142ページ、「図形」は24ページ、「測定」は26ページ、「データの活用」は16ページであり、総ページ数は296ページで、前回より約3%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第4学年～「数と計算」は139ページ、「図形」は66ページ、「変化と関係」は26ページ、「データの活用」は24ページであり、総ページ数は313ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第5学年～「数と計算」は84ページ、「図形」は70ページ、「変化と関係」は116ページ、「データの活用」は18ページであり、総ページ数は301ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「わくわく算数ひろば」で主体的に探究活動に取り組めるよう配慮したり（第3、5、6学年）、「学びのサポート」で自主的に取り組むことのできる内容を取り上げたり（第2～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童自らが課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面を設定したり（第2～6学年）、各時間の学習に「めあて」や「まとめ」を設定したり（第2～6学年）等するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に考えを伝えるときのわかりやすい説明の仕方が掲載されていたり（第2～6学年）、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	算数	日文	しょうがく さんすう 1ねん上、しょうがく さんすう 1ねん下 小学算数 2年上、小学算数 2年下 小学算数 3年上、小学算数 3年下 小学算数 4年上、小学算数 4年下 小学算数 5年上、小学算数 5年下 小学算数 6年
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、葉の枚数を数えたり、木に残った柿の数を求めたりする活動、乗り物に乗っている人数を求めたり、テープの長さを比べたりする活動、お菓子を同じ数ずつ分けたり、除法の式になる問題を作ったりする活動、ジュースのかさの表し方を考えたり、リボンの長さを求めたりする活動、リボンの代金を求める式を考えたり、パイプ1mの重さを求めたりする活動、ペンキで塗る屋根の面積を求める式を考えたり、除法の計算の仕方を考えたりする活動を通して、整数・小数・分数の四則演算の意味や計算の意味を考えたり考察したりする力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 図形については、色板を動かして形を変えたり、色の棒を使っているいろいろな形を作ったりする活動、紙を折って長方形を作ったり、紙を切って三角形を作ったりする活動、いろいろな長さのストローで三角形を作ったり、三角形を仲間分けしたりする活動、いろいろな形の四角形を作ったり、身の回りにある四角形を探したりする活動、身の回りにある合同な図形を探したり、合同な三角形をいかたりする活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに形の特徴を捉え形の構成を考える力、基本的な図形の概念を理解するとともに平面図形の特徴を捉え考察する力、平面図形を理解するとともに図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し考察する力、図形の意味と性質を理解するとともに図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 測定については、鉛筆の長さを比べたり、ペットボトルの水の量を比べたりする活動、はがきの横と縦の長さを測ったり、ものさしを使って直線を引いたりする活動、三角定規とボールペン、消しゴムの重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動を通して、数量の関係について理解の基礎となる経験を重ねるとともに量の大きさの比べ方を考える力、量の概念を理解するとともに量の単位を用いて的確に表現する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ 変化と関係については、長方形や正方形の縦と横の長さの関係を表にまとめたり、言葉の式で表したりする活動、シートに座っている人の混み具合を考えたり、人口密度を求めたりする活動、水を入れたときの時間と深さの関係を調べたり、式に表したりする活動を通して、表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を育成できるようになっている。</p> <p>○ データの活用については、動物の数を比べたり、見やすく整理したりする活動、メダルの数をグラフに表したり、グラフから分かることを考えたりする活動、好きなスポーツの種類を表に表したり、通った乗り物の種類をグラフに表したりする活動、気温の変化を表に表したり、変化の特徴を考えたりする活動、果物の生産量の割合を調べたり、地域別面積をグラフに表したりする活動、ソフトボール投げの記録を比べたり、グラフに表したりする活動を通して、量の大きさを簡単な絵や図などに表す技能を身に付けるとともに、データの個数に着目して捉える力、数量や表やグラフに表す技能を身に付けるとともにデータの特徴や傾向に着目して多面的・批判的に考察する力を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、それぞれの学年で学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、第1, 2学年では、加法の学習において、加法のよりよい計算の仕方や既習の加法の計算との違いについて考え、式に表しやすい図や計算の順序などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第3, 4学年では、乗法や除法の学習において、乗法の計算や既習の除法の計算との違いについて考え、考</p>		

	<p>えの共通点や相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、平面図形の性質や分数の乗法、除法の学習において、四角形の内角の和の求め方や計算の仕方について考え、考えの共通点やいつでも使える計算の仕方になっているかなどについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動取り上げられている。</p>
内容の程度・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では、数の合成や分解の学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、第2学年では、乗法九九の学習の後に、乗法に関して成り立つ性質の学習を取り扱い、第3学年では、2位数に1位数をかける乗法の学習の後に、2位数に2位数をかける乗法の学習を取り扱い、第4学年では、四則に関して成り立つ性質の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、第5学年では、偶数や奇数の学習の後に、約数や倍数の学習を取り扱い、第6学年では、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道（胆振・苫小牧）にかかわりのある内容については、第4学年の数と計算の領域で、概数を求める問題として「北海道の小学4年生の児童の数」が使われ、第5学年のデータ活用の領域では、グラフに表す問題として「北海道の面積」が使われ、第6学年の図形の領域では、既習事項を活用する問題として「北海道のマーク」など、全部で16箇所が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「数と計算」は137ページ、「図形」は13ページ、「測定」は17ページ、「データの活用」は4 ページであり、総ページ数は190ページで、前回より約15%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 「数と計算」は126ページ、「図形」は20ページ、「測定」は33ページ、「データの活用」は3 ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約1%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 「数と計算」は130ページ、「図形」は25ページ、「測定」は26ページ、「データの活用」は17ページであり、総ページ数は294ページで、前回より約3%減となっている。（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 「数と計算」は156ページ、「図形」は66ページ、「変化と関係」は49ページ、「データの活用」は19ページであり、総ページ数は323ページで、前回より約4%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 「数と計算」は73ページ、「図形」は84ページ、「変化と関係」は36ページ、「データの活用」は20ページであり、総ページ数は314ページで、前回より約3%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 「数と計算」は46ページ、「図形」は52ページ、「変化と関係」は34ページ、「データの活用」は34ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約6%増となっている。（判型はB5判）</p>
使用上の配慮等	<p>○ 「単元アプローチ」で遊びの要素がある内容を掲載したり（全学年）、「算数アドベンチャー」で数学的な面白さを実感できる内容を掲載したり（第2～6学年）するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 「自分でみんなで」で学習の進め方の例示を掲載したり（全学年）、「さあ、算数の学習を始めよう！」で問題解決的な学習の展開例を掲載したり（第2～6学年）して、主体的に学習にできるよう工夫されている。</p> <p>○ 「算数ノートをつくろう」で児童が考えた過程を適切に示したノートの見本を掲載したり（全学年）、ユニバーサルデザイン教科書体を使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>※小学校用教科書目録（平成32年度使用文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>